

平成24年9月28日公表

農業分野におけるIT利活用に関する意識・意向調査結果

この調査は、平成24年7月中旬～下旬にかけて、農林水産情報交流ネットワーク事業の農業者モニター1,269名に対して実施し、1,062名から回答を得た結果である。

【調査結果の概要】

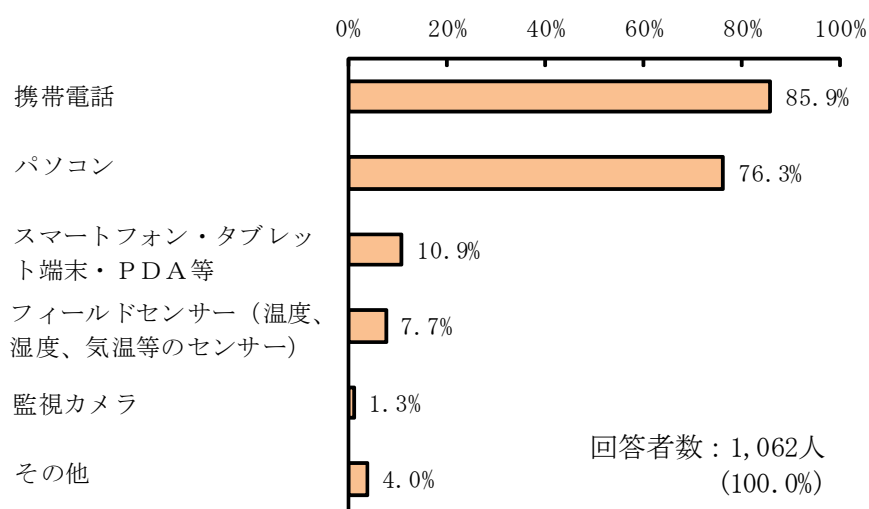
1 IT機器等の経営への利用について

(1) IT機器等の所有状況

IT機器等の所有状況については、「携帯電話」(85.9%)及び「パソコン」(76.3%)は7割以上が所有しているが、その他のIT機器等については、ほとんど所有していない状況となっている(図1-1)。

注：本調査において、「IT機器等」とは、携帯電話、パソコン、スマートフォン・タブレット端末・PDA等、フィールドセンサー(センサーを用いた圃場の環境測定機器)、監視カメラ等のIT機器及びそれらに搭載されるソフトウェアやアプリケーションの総称をいう。

図1-1 IT機器等の所有状況(複数回答)



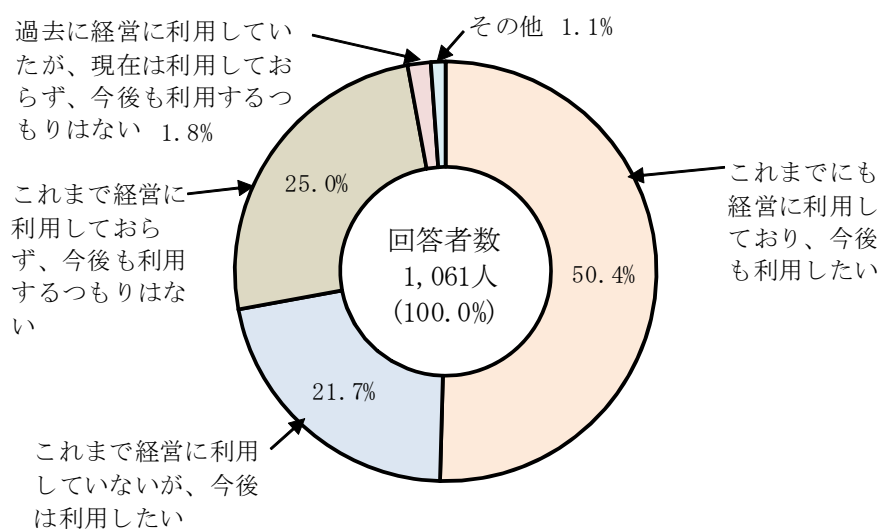
(2) IT機器等の経営への利用意向について

ア 今後の利用意向について

今後のIT機器等の経営への利用意向については、「これまでも経営に利用しており、今後も利用したい」の割合が50.4%、「これまでも経営に利用していないが、今後は利用したい」が21.7%となっており、利用意向がある農業者の割合は合わせて72.1%となっている。

一方、「これまで経営に利用しておらず、今後も利用するつもりはない」の割合は25.0%、「過去に経営に利用していたが、現在は利用しておらず、今後も利用するつもりはない」は1.8%となっている（図1-2）。

図1-2 IT機器等の今後の経営への利用意向



イ 現在の経営への利用状況

「これまでも経営に利用しており、今後も利用したい」と答えた農業者について、現在の利用状況をみると、「インターネットによる栽培、防除、気象、市況等情報収集」の割合が69.2%と最も高く、次いで「経理事務や経営に関するデータ分析」(67.1%)、「農作業履歴や出荷履歴の記録」(48.8%)の順となっている（図1-3）。

更に、「インターネットによる栽培、防除、気象、市況等情報収集」と答えた農業者について、収集している情報をみると、「気象に関する情報」の割合が84.6%と最も高く、次いで「農業資材や畜産資材に関する情報」(56.8%)、「栽培技術や飼養管理技術に関する情報」(54.6%)、「病虫害や家畜伝染病に関する情報」(50.5%)の順となっている（図1-4）。

図1-3 現在のIT機器等の経営への利用状況（複数回答）

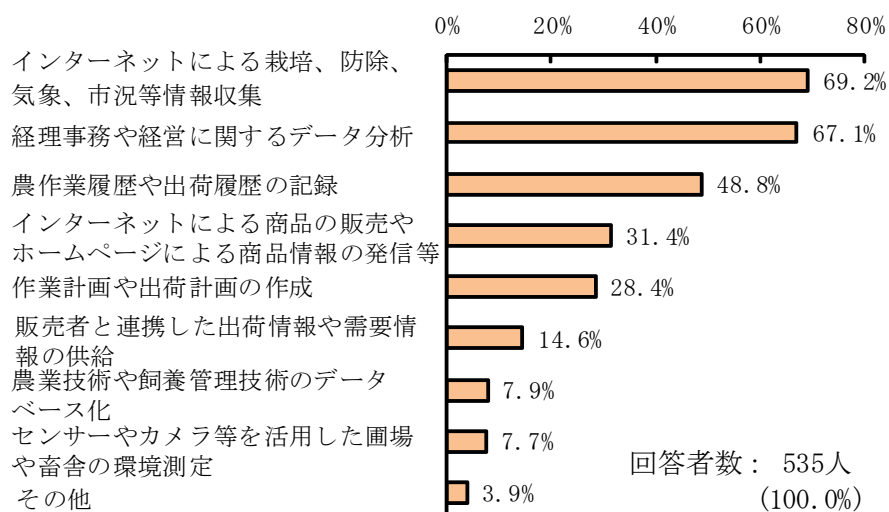
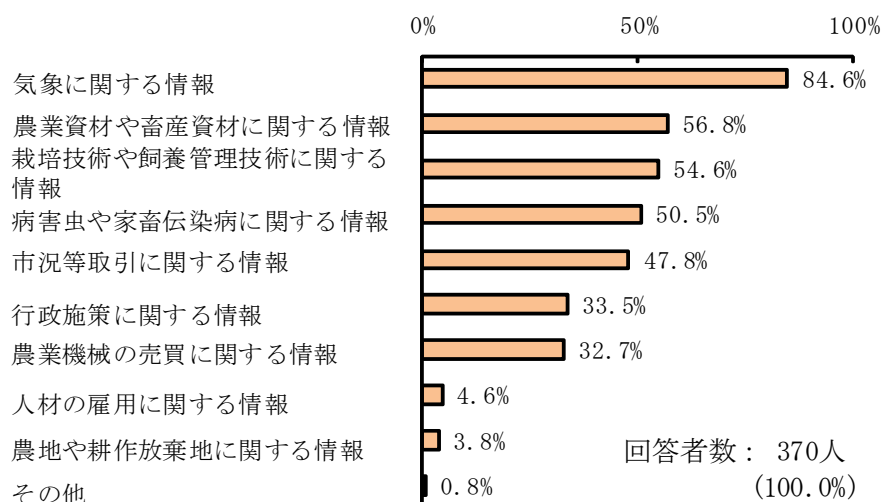


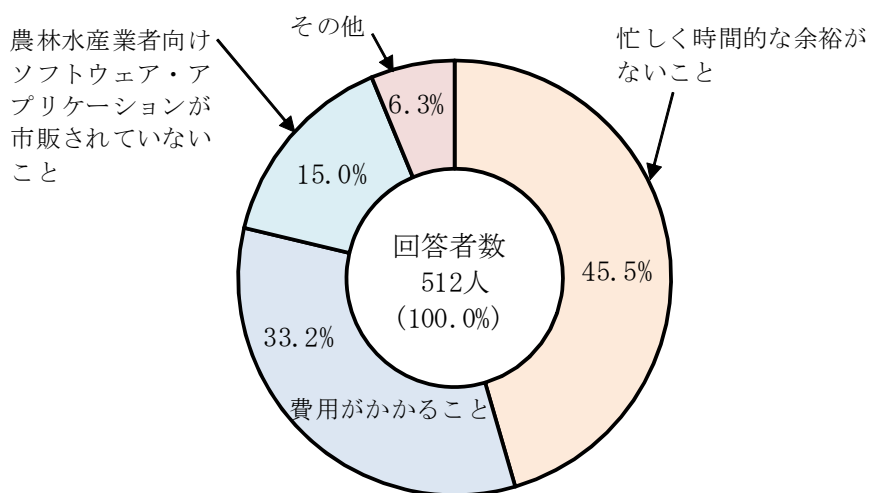
図1-4 インターネットで収集している情報（複数回答）



ウ 現在利用しているが、更なる利活用を望む場合の弊害要因について

「これまでにも経営に利用しており、今後も利用したい」と答えた農業者について、今後、更なる利活用を望む場合の弊害要因をみると、「忙しく時間的な余裕がないこと」の割合が45.5%と最も高く、次いで「費用がかかること」（33.2%）の順となっている（図1-5）。

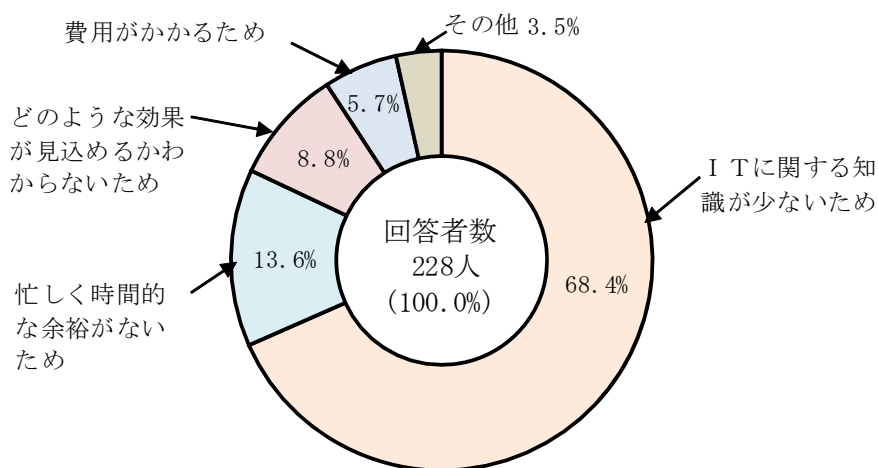
図 1-5 現在 I T 機器等を経営に利用しているが
更なる利活用を望む場合の弊害要因



エ 今後利用を考えているが、これまで利用してこなかった理由について

「これまで経営に利用していないが、今後は利用したい」と答えた農業者について、これまで経営に利用してこなかった理由をみると、「I Tに関する知識が少ないため」の割合が68.4%と最も高く、次いで「忙しく時間的な余裕がないため」(13.6%)の順となっている(図1-6)。

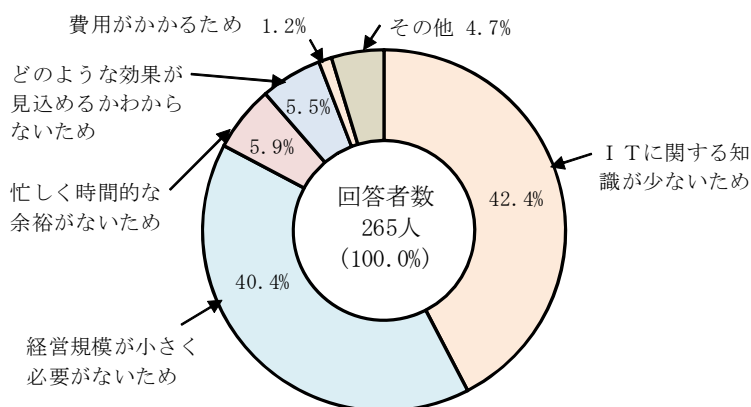
図 1-6 今後 I T 機器等の利用を考えているが、
これまで経営に利用してこなかった理由



オ 利用しようと思わない理由について

「これまで経営に利用しておらず、今後も利用するつもりはない」と答えた農業者について、経営に利用しようと思わない理由をみると、「ITに関する知識が少ないため」の割合が42.4%と最も高く、次いで「経営規模が小さく必要がないため」(40.4%)の順となっている(図1-7)。

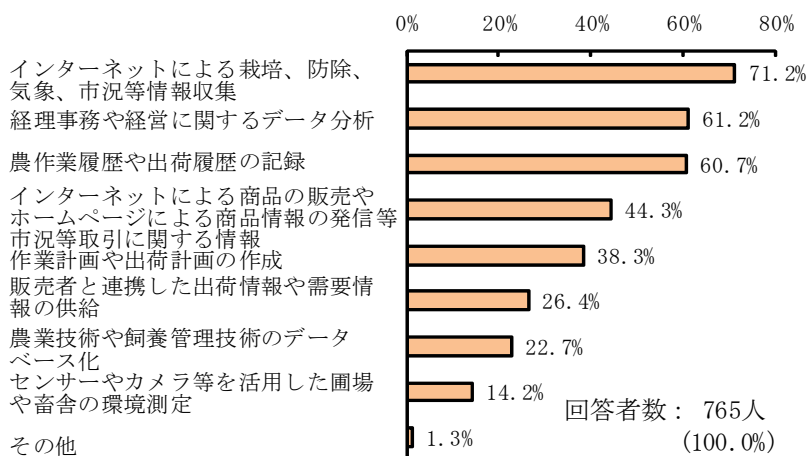
図1-7 IT機器等を経営に利用しようと思わない理由



カ 今後の利用目的について

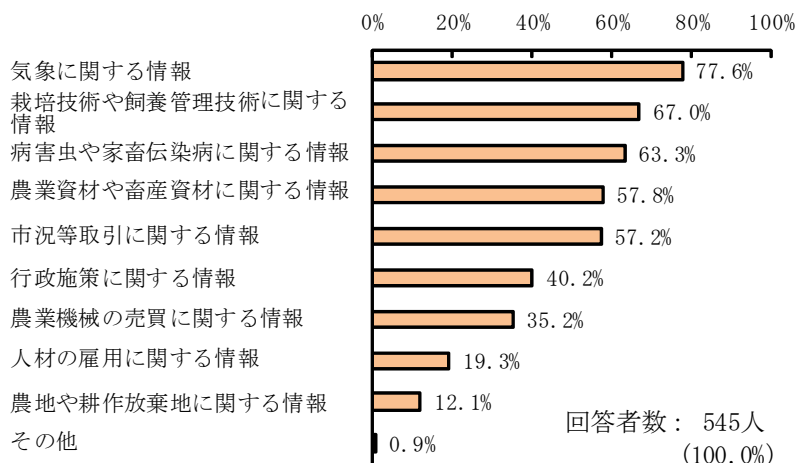
「これまでも経営に利用しており、今後も利用したい」又は「これまで経営に利用していないが、今後は利用したい」と答えた農業者について、今後の経営への利用目的をみると、「インターネットによる栽培、防除、気象、市況等情報収集」の割合が71.2%と最も高く、次いで「経理事務や経営に関するデータ分析」(61.2%)、「農作業履歴や出荷履歴の記録」(60.7%)の順となっている(図1-8)。

図1-8 IT機器等の今後の経営への利用目的(複数回答)



更に、「インターネットによる栽培、防除、気象、市況等情報収集」と答えた農業者について、収集したい情報をみると、「気象に関する情報」の割合が77.6%と最も高く、次いで「栽培技術や飼養管理技術に関する情報」(67.0%)、「病虫害や家畜伝染病に関する情報」(63.3%)、「農業資材や畜産資材に関する情報」(57.8%)、「市況等取引に関する情報」(57.2%)の順となっている(図1-9)。

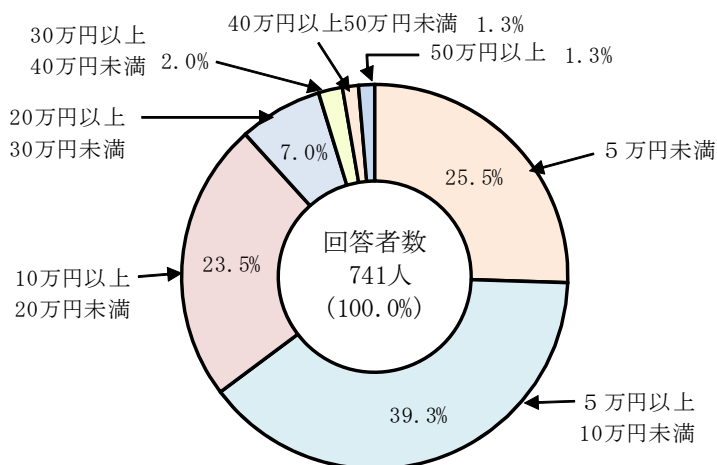
図1-9 インターネットで収集したい情報(複数回答)



キ 利活用する場合の年間投資可能額について

「これまでも経営に利用しており、今後も利用したい」又は「これまで経営に利用していないが、今後は利用したい」と答えた農業者について、利活用する場合の年間投資可能額をみると、「5万円以上10万円未満」の割合が39.3%と最も高く、次いで「5万円未満」(25.5%)、「10万円以上20万円未満」(23.5%)の順となっている(図1-10)。

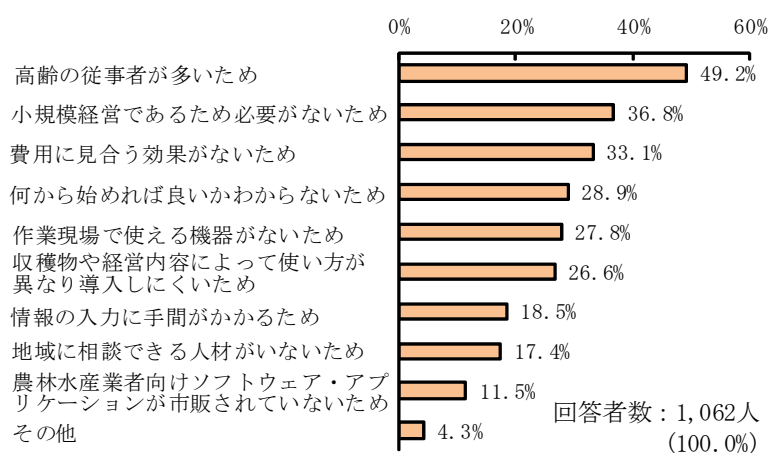
図1-10 IT機器等を経営に利活用する場合の年間投資可能額



(3) 農林水産分野においてITの導入が遅れていると言われてしている原因について

農林水産分野では一般的に他の産業と比べてITの導入が遅れていると言われてしている原因については、「高齢の従事者が多いため」の割合が49.2%と最も高く、次いで「小規模経営であるため必要がないため」(36.8%)、「費用に見合う効果がないため」(33.1%)の順となっている(図1-11)。

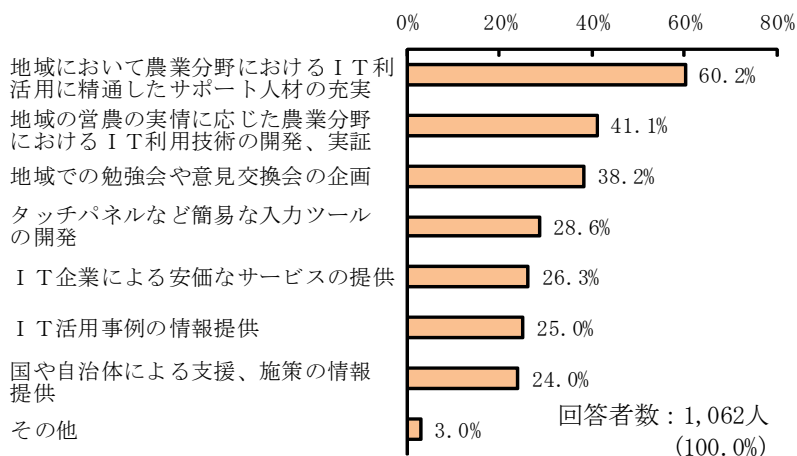
図1-11 農林水産分野においてITの導入が遅れていると言われてしている原因(3つ回答)



(4) 農林水産分野においてITの利活用を促進するための取組について

農林水産分野においてITの利活用を促進するための取組については、「地域において農業分野におけるIT利活用に精通したサポート人材の充実」の割合が60.2%と最も高く、次いで「地域の営農の実情に応じた農業分野におけるIT利用技術の開発、実証」(41.1%)、「地域での勉強会や意見交換会の企画」(38.2%)の順となっている(図1-12)。

図1-12 農林水産分野においてITの利活用を促進するための取組(3つ回答)



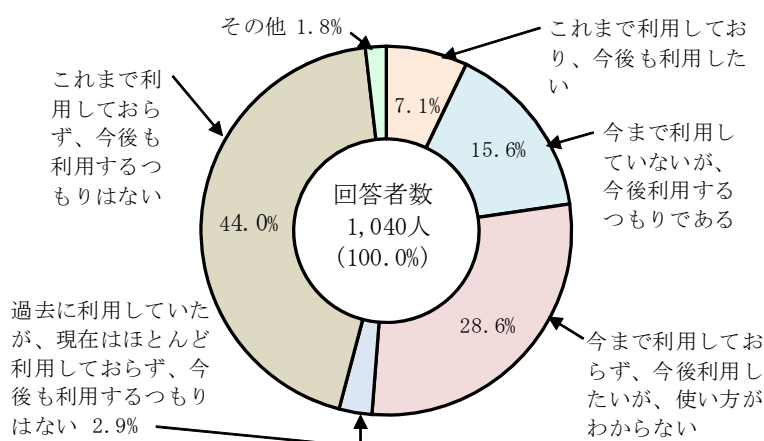
2 ソーシャルメディアの活用状況について

(1) 今後の利用意向について

Facebookやtwitterのようなソーシャルメディアの今後の利用意向については、「これまで利用しており、今後も利用したい」の割合が7.1%、「今まで利用していないが、今後利用するつもりである」が15.6%、「今まで利用しておらず、今後利用したいが、使い方が分からない」が28.6%となっており、利用する意向がある農業者は合わせて51.3%を占めているが、そのうちの半数以上が「使い方が分からない」状況となっている。

一方、「これまで利用しておらず、今後も利用するつもりはない」が44.0%となっている。

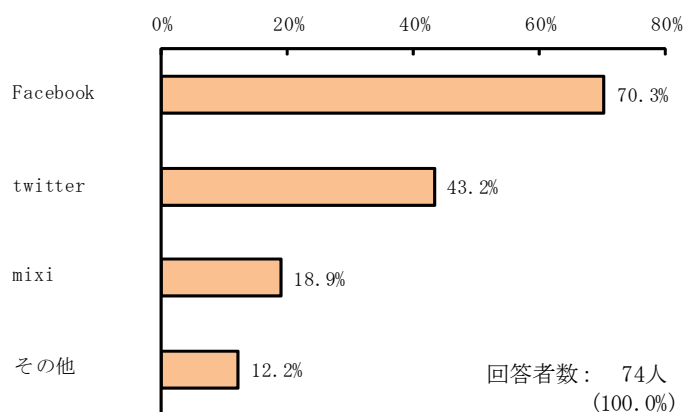
図2-1 ソーシャルメディアの今後の利用意向



(2) 現在利用しているソーシャルメディアについて

「これまで利用しており、今後も利用したい」と答えた農業者について、現在利用しているソーシャルメディアをみると、「Facebook」の割合が70.3%と最も高く、次いで「twitter」(43.2%)の順となっている(図2-2)。

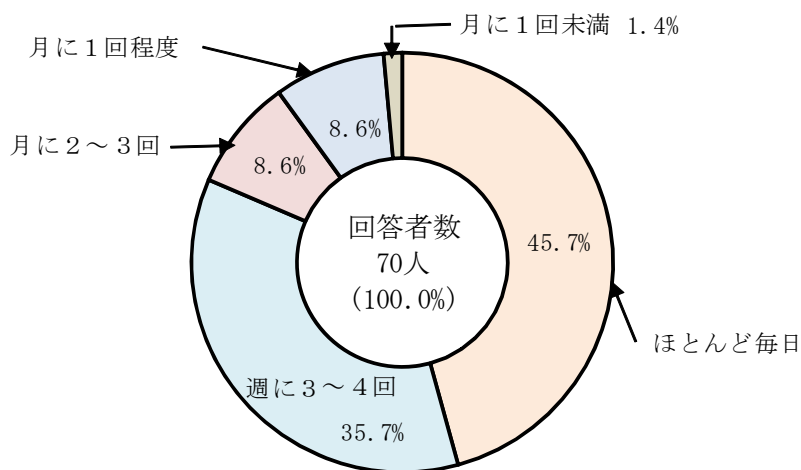
図2-2 現在利用しているソーシャルメディア(複数回答)



(3) 利用頻度について

「これまで利用しており、今後も利用したい」と答えた農業者の利用頻度については、「ほとんど毎日」の割合が45.7%と最も高く、次いで「週に3～4回」(35.7%)の順となっている(図2-3)。

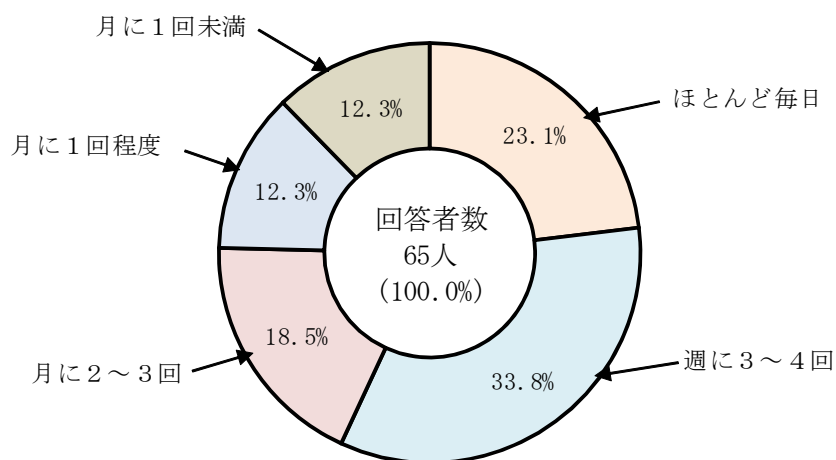
図2-3 ソーシャルメディアの利用頻度



(4) 書き込み頻度について

「これまで利用しており、今後も利用したい」と答えた農業者の書き込み頻度については、「週に3～4回」の割合が33.8%と最も高く、次いで「ほとんど毎日」(23.1%)の順となっている(図2-4)。

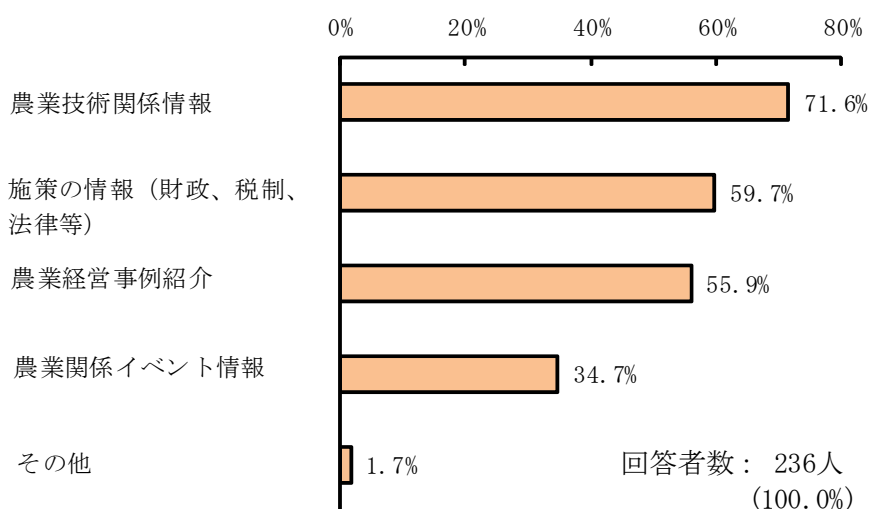
図2-4 ソーシャルメディアへの書き込み頻度



(5) 農林水産省経営局が開始したFacebookで受け取りたい情報について

Facebookを「これまで利用しており、今後も利用したい」又は「今まで利用していないが、今後利用するつもりである」と答えた農業者について、農林水産省経営局が開始したFacebookで受け取りたい情報をみると、「農業技術関係情報」の割合が71.6%と最も高く、次いで「施策の情報（財政、税制、法律等）」（59.7%）、「農業経営事例紹介」（55.9%）の順となっている（図2-5）。

図2-5 農林水産省経営局が開始したFacebookで受け取りたい情報（複数回答）



【 統 計 表 】

《 目 次 》

1	I T機器等の所有状況（複数回答）	12
2	I T機器等の今後の経営への利用意向	12
3	現在のI T機器等の経営への利用状況（複数回答）	12
4	インターネットで収集している情報（複数回答）	12
5	現在I T機器等を経営に利用しているが、更なる利活用を望む場合の弊害要因	12
6	過去にI T機器等を経営に利用していたが、現在は利用していない理由	13
7	今後I T機器等の経営への利用を考えているが、これまで経営に利用してこなかった理由	13
8	I T機器等を経営に利用しようと思わない理由	13
9	I T機器等の今後の経営への利用目的（複数回答）	13
10	インターネットで収集したい情報（複数回答）	13
11	I T機器等を経営に利活用する場合の年間投資可能額	14
12	農林水産分野においてI Tの導入が遅れていると言われてしている原因（3つ回答）	14
13	農林水産分野においてI Tの利活用を促進するための取組（3つ回答）	14
14	ソーシャルメディアの今後の利用意向	14
15	現在利用しているソーシャルメディア（複数回答）	14
16	ソーシャルメディアの利用頻度	15
17	ソーシャルメディアへの書き込み頻度	15
18	農林水産省経営局が開始したFacebookで受け取りたい情報（複数回答）	15

1 IT機器等の所有状況（複数回答）

単位：％

回答者数	パソコン	携帯電話	スマートフォン・タブレット端末・PDA等	監視カメラ	フィールドセンサー（温度、湿度、気温等のセンサー）	その他	
人	1,062	76.3	85.9	10.9	1.3	7.7	4.0

2 IT機器等の今後の経営への利用意向

単位：％

回答者数	これまでも経営に利用しており、今後も利用したい	過去に経営に利用していたが、現在は利用しておらず、今後も利用するつもりはない	これまでも経営に利用していないが、今後は利用したい	これまでも経営に利用しておらず、今後は利用するつもりはない	その他	
人	1,061	50.4	1.8	21.7	25.0	1.1

3 現在のIT機器等の経営への利用状況（複数回答）

（問2で「1 これまでも経営に利用しており、今後も利用したい」と回答した者のみ回答）

単位：％

回答者数	インターネットによる栽培、防除、気象、市況等情報収集	インターネットによる商品の販売やホームページによる商品の発信等	経理事務や経営に関するデータ分析	農作業履歴の記録	履歴や出荷履歴の記録	作業計画や出荷計画の作成	センサーやカメラ等を活用した圃場や畜舎の環境測定	農業技術や飼養管理技術のデータベース化	販売者や連携した出荷情報や需要情報の供給	その他
人	535	69.2	31.4	67.1	48.8	28.4	7.7	7.9	14.6	3.9

4 インターネットで収集している情報（複数回答）

（問3で「1 インターネットによる栽培、防除、気象、市況等情報収集」と回答した者のみ回答）

単位：％

回答者数	市況等取引に関する情報	気象に関する情報	病害虫や家畜伝染病に関する情報	栽培技術や飼養管理技術に関する情報	農業資材や畜産資材に関する情報	農業機械の売買に関する情報	農地や耕作放棄地に関する情報	人材の雇用に関する情報	行政施策に関する情報	その他	
人	370	47.8	84.6	50.5	54.6	56.8	32.7	3.8	4.6	33.5	0.8

5 現在IT機器等を経営に利用しているが、更なる利活用を望む場合の弊害要因

（問2で「1 これまでも経営に利用しており、今後も利用したい」と回答した者のみ回答）

単位：％

回答者数	費用がかかること	忙しくて時間的な余裕がないこと	農林水産業者向けソフトウェア・アプリケーションが市販されていないこと	その他	
人	512	33.2	45.5	15.0	6.3

6 過去にIT機器等を経営に利用していたが、現在は利用していない理由

(問2で「2 過去に経営に利用していたが、現在は利用しておらず、今後も利用するつもりはない」と回答した者のみ回答)

単位：%

回答者数	費用が高 価である ため	費用に見 合う効果 がないた め	情報の入 力に手間 がかかる ため	どのよう な効果が 見込める かわから ないため	その他	
人	19	26.3	47.4	-	21.1	5.3

7 今後IT機器等の経営への利用を考えているが、これまで経営に利用してこなかった理由

(問2で「3 これまで経営に利用していないが、今後は利用したい」と回答した者のみ回答)

単位：%

回答者数	費用がか かるため	忙しく時 間的な余 裕がない ため	ITに関 する知識 が少ない ため	どのよう な効果が 見込める かわから ないため	その他	
人	228	5.7	13.6	68.4	8.8	3.5

8 IT機器等を経営に利用しようと思わない理由

(問2で「4 これまで経営に利用しておらず、今後も利用するつもりはない」と回答した者のみ回答)

単位：%

回答者数	経営規模 が小さく 必要がな いため	費用がか かるため	忙しく時 間的な余 裕がない ため	ITに関 する知識 が少ない ため	どのよう な効果が 見込める かわから ないため	その他	
人	265	40.4	1.2	5.9	42.4	5.5	4.7

9 IT機器等の今後の経営への利用目的 (複数回答)

(問2で「1 これまでにも経営に利用しており、今後は利用したい」又は「3 これまで経営に利用していないが、今後は利用したい」のいずれかと回答した者のみ回答)

単位：%

回答者数	インター ネットに よる栽 培、防 除、気 象、市 況等情 報収集	インター ネットに よる商 品の販 売やホ ームペ ージに よる商 品の発 信等	経理事務 や経営に 関する データ 分析	農作業履 歴や出 荷履歴 の記録	作業計画 や出荷計 画の作成	センサー やカメラ 等を活用 した圃場 や畜舎の 環境測定	農業技術 や飼養管 理技術の データ ベース化	販売者と 連携した 出荷情報 や需要情 報の供給	その他	
人	765	71.2	44.3	61.2	60.7	38.3	14.2	22.7	26.4	1.3

10 インターネットで収集したい情報 (複数回答)

(問9で「1 インターネットによる栽培、防除、気象、市況等情報収集」と回答した者のみ回答)

単位：%

回答者数	市況等取 引に関する 情報	気象に関 する情報	病虫害や 家畜伝染 病に関する 情報	栽培技術 や飼養管 理技術に 関する情 報	農業資材 や畜産資 材に関する 情報	農業機械 の売買に 関する情 報	農地や耕 作放棄地 に関する 情報	人材の雇 用に関する 情報	行政施策 に関する 情報	その他	
人	545	57.2	77.6	63.3	67.0	57.8	35.2	12.1	19.3	40.2	0.9

11 IT機器等を経営に利活用する場合の年間投資可能額

(問2で「1 これまでにも経営に利用しており、今後も利用したい」又は「3 これまで経営に利用していないが、今後は利用したい」のいずれかと回答した者のみ回答)

単位：%

回答者数	5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	30万円以上40万円未満	40万円以上50万円未満	50万円以上
人	741	25.5	39.3	23.5	7.0	2.0	1.3

12 農林水産分野においてITの導入が遅れていると言われていた原因(3つ回答)

単位：%

回答者数	作業現場で使える機器がないため	情報の入力に手間がかかるため	費用に見合う効果がないため	地域に相談できる人材がないため	収穫物や経営内容によって使い方が異なり導入しにくい	小規模経営であるため必要ない	農林水産業者向けソフトウェア・アプリケーションが市販されていないため	何から始めれば良いかわからないため	高齢の従事者が多い	その他	
人	1,062	27.8	18.5	33.1	17.4	26.6	36.8	11.5	28.9	49.2	4.3

13 農林水産分野においてITの利活用を促進するための取組(3つ回答)

単位：%

回答者数	地域において農業分野におけるIT利活用したサポート人材の実	地域での勉強会や意見交換会の企画	IT企業による安心なサービスの提供	タッチパネルなど簡易な入力ツールの開発	IT活用事例の情報提供	地域の営農の実情に応じた農業分野におけるIT利用技術の開発、実証	国や自治体による支援、施策の情報提供	その他	
人	1,062	60.2	38.2	26.3	28.6	25.0	41.1	24.0	3.0

14 ソーシャルメディアの今後の利用意向

単位：%

回答者数	これまで利用しており、今後も利用したい	過去に利用していたが、現在はほとんど利用しておらず、今後は利用するつもりはない	今まで利用していないが、今後利用するつもりである	今まで利用しておらず、今後利用したいが、使い方がわからない	これまで利用しておらず、今後も利用するつもりはない	その他	
人	1,040	7.1	2.9	15.6	28.6	44.0	1.8

15 現在利用しているソーシャルメディア(複数回答)

(問14で「1 これまで利用しており、今後も利用したい」と回答した者のみ回答)

単位：%

回答者数	Facebook	twitter	mixi	その他	
人	74	70.3	43.2	18.9	12.2

16 ソーシャルメディアの利用頻度

(問14で「1 これまで利用しており、今後も利用したい」と回答した者のみ回答)

単位：%

回答者数	ほとんど 毎日	週に3～ 4回	月に2～ 3回	月に1回 程度	月に1回 未満
人					
70	45.7	35.7	8.6	8.6	1.4

17 ソーシャルメディアへの書き込み頻度

(問14で「1 これまで利用しており、今後も利用したい」と回答した者のみ回答)

単位：%

回答者数	ほとんど 毎日	週に3～ 4回	月に2～ 3回	月に1回 程度	月に1回 未満
人					
65	23.1	33.8	18.5	12.3	12.3

18 農林水産省経営局が開始したFacebookで受け取りたい情報（複数回答）

(問14で「1 これまで利用しており、今後も利用したい」または「3 今まで利用していないが、今後利用するつもりである」と回答した者のみ回答)

単位：%

回答者数	施策の情 報	農業関係 イベント 情報	農業経営 事例紹介	農業技術 関係情報	その他
人					
236	59.7	34.7	55.9	71.6	1.7

【調査事項】

本調査において、「IT機器等」とは、パソコン、携帯電話、スマートフォン等、フィールドセンサー（センサーを用いた圃場の環境測定機器）、監視カメラ等のIT機器並びにそれらに搭載されるソフトウェア及びアプリケーションを総称してまいります。

【IT機器等の経営への利用について】

問1 あなたの所有しているIT機器は何ですか。

（該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 パソコン
- 2 携帯電話
- 3 スマートフォン・タブレット端末・PDA等
- 4 監視カメラ
- 5 フィールドセンサー（温度、湿度、気温等のセンサー）
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問2 IT機器等を今後、経営へ利用したいですか。

（該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 これまでにも経営に利用しており、今後も利用したい。
- 2 過去に経営に利用していたが、現在は利用しておらず、今後も利用するつもりはない。
- 3 これまで経営に利用していないが、今後は利用したい。
- 4 これまで経営に利用しておらず、今後も利用するつもりはない。
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問3 問2で「1」を選択した方にお聞きします。

現在、IT機器等を経営にどのように利用していますか。

（該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 インターネットによる栽培、防除、気象、市況等情報収集
- 2 インターネットによる商品の販売やホームページによる商品情報の発信等
- 3 経理事務や経営に関するデータ分析
- 4 農作業履歴や出荷履歴の記録
- 5 作業計画や出荷計画の作成
- 6 センサーやカメラ等を活用した圃場や畜舎の環境測定
- 7 農業技術や飼養管理技術のデータベース化

- 8 販売者と連携した出荷情報や需要情報の供給
- 9 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問4 問3で「1」を選択した方にお聞きします。

現在、インターネットで収集している情報は何か。

（該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 市況等取引に関する情報
- 2 気象に関する情報
- 3 病虫害や家畜伝染病に関する情報
- 4 栽培技術や飼養管理技術に関する情報
- 5 農業資材や畜産資材に関する情報
- 6 農業機械の売買に関する情報
- 7 農地や耕作放棄地に関する情報
- 8 人材の雇用に関する情報
- 9 行政施策に関する情報
- 10 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問5 問2で「1」を選択した方にお聞きします。

今後、更にIT機器等の利活用を望む場合、その弊害となる要因は何ですか。

（該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 費用がかかること
- 2 忙しく時間的な余裕がないこと
- 3 農林水産業者向けソフトウェア・アプリケーションが市販されていないこと
- 4 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問6 問2で「2」を選択した方にお聞きします。

過去に経営に利用していたが、現在は利用していない理由は何ですか。

（該当する選択肢を1つ選択しその番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 費用が高価であるため
- 2 費用に見合う効果がないため
- 3 情報の入力に手間がかかるため
- 4 どのような効果が見込めるかわからないため
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問7 問2で「3」を選択した方にお聞きします。

これまで経営に利用してこなかった理由は何ですか。

（該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 費用がかかるため
- 2 忙しく時間的な余裕がないため
- 3 I Tに関する知識が少ないため
- 4 どのような効果が見込めるかわからないため
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問8 問2で「4」を選択した方にお聞きします。

経営に利用しようと思わない理由は何ですか。

（該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 経営規模が小さく必要がないため
- 2 費用がかかるため
- 3 忙しく時間的な余裕がないため
- 4 I Tに関する知識が少ないため
- 5 どのような効果が見込めるかわからないため
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問9 問2で「1」又は「3」のいずれかを選択した方にお聞きします。

今後、I T機器等を経営にどのように利用したいと思いませんか。

（該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 インターネットによる栽培、防除、気象、市況等情報収集
- 2 インターネットによる商品の販売やホームページによる商品情報の発信等
- 3 経理事務や経営に関するデータ分析
- 4 農作業履歴や出荷履歴の記録
- 5 作業計画や出荷計画の作成
- 6 センサーやカメラ等を活用した圃場や畜舎の環境測定
- 7 農業技術や飼養管理技術のデータベース化
- 8 販売者と連携した出荷情報や需要情報の供給
- 9 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問10 問9で「1」を選択した方にお聞きします。

今後、インターネットで収集したい情報は何か。

（該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 市況等取引に関する情報
- 2 気象に関する情報
- 3 病害虫や家畜伝染病に関する情報
- 4 栽培技術や飼養管理技術に関する情報

- 5 農業資材や畜産資材に関する情報
- 6 農業機械の売買に関する情報
- 7 農地や耕作放棄地に関する情報
- 8 人材の雇用に関する情報
- 9 行政施策に関する情報
- 10 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問11 問2で「1」又は「3」のいずれかを選択した方にお聞きします。

IT機器等を経営に利活用する場合、年間どのくらい投資できますか。
（該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 5万円未満
- 2 5万円以上10万円未満
- 3 10万円以上20万円未満
- 4 20万円以上30万円未満
- 5 30万円以上40万円未満
- 6 40万円以上50万円未満
- 7 50万円以上

問12 全ての方にお聞きします。農林水産分野は一般的に他の産業に比べてITの導入が遅れていると言われていますが、どのようなことが原因だと思いますか。

（該当する選択肢の主なものを3つまで選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 作業現場で使える機器がないため
- 2 情報の入力に手間がかかるため
- 3 費用に見合う効果がないため
- 4 地域に相談できる人材がないため
- 5 収穫物や経営内容によって使い方が異なり導入しにくい
- 6 小規模経営であるため必要がないため
- 7 農林水産業者向けソフトウェア・アプリケーションが市販されていないため
- 8 何から始めれば良いかわからないため
- 9 高齢の従事者が多いため
- 10 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問13 今後、農林水産分野でITの利活用を促進するためには、どのような取組が必要だと思いますか。

（該当する選択肢の主なものを3つまで選択し、その番号を回答用紙に記入してください。）

- 1 地域において農業分野におけるIT利活用に精通したサポート人材の充実
- 2 地域での勉強会や意見交換会の企画

- 3 I T企業による安価なサービスの提供
- 4 タッチパネルなど簡易な入力ツールの開発
- 5 I T活用事例の情報提供
- 6 地域の営農の実情に応じた農業分野における I T利用技術の開発、実証
- 7 国や自治体による支援、施策の情報提供
- 8 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

【ソーシャル・メディアの活用状況について】

「ソーシャルメディア」とは、インターネット上で個人間が双方向に写真、動画を含んだ情報を発信し、共有するといったコミュニケーションを通じて成り立つメディアをいいます。（例：Facebook、twitter、ブログ等）

問14 Facebookやtwitterのようなソーシャルメディアを今後利用したいとお考えですか。
（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 これまで利用しており、今後も利用したい
- 2 過去に利用していたが、現在はほとんど利用しておらず、今後も利用するつもりはない
- 3 今まで利用していないが、今後利用するつもりである
- 4 今まで利用しておらず、今後利用したいが、使い方が分からない
- 5 これまで利用しておらず、今後も利用するつもりはない
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問15 問14で「1」を選択した方にお聞きします。
現在、どのソーシャル・メディアを利用していますか。
（該当する選択肢の番号を全て選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 Facebook
- 2 twitter
- 3 mixi
- 4 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問16 問14で「1」を選択した方にお聞きします。
どれくらいの頻度で利用していますか。
（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 ほとんど毎日
- 2 週に3～4回
- 3 月に2～3回
- 4 月に1回程度
- 5 月に1回未満

問17 問14で「1」を選択した方にお聞きします。
どれくらいの頻度で書込みをしていますか。
(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 ほとんど毎日
- 2 週に3～4回
- 3 月に2～3回
- 4 月に1回程度
- 5 月に1回未満

問18 問14で「1」又は「3」のいずれかを選択した方にお聞きします。
農林水産省経営局でもFacebookを活用した情報発信を開始(<https://www.facebook.com/nogyokeiei>)しましたが、どのような情報であれば受け取りたい、又は他の方とシェアしたいと考えますか。
(該当する選択肢の番号を全て選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 施策の情報(財政、税制、法律等)
- 2 農業関係イベント情報
- 3 農業経営事例紹介
- 4 農業技術関係情報
- 5 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、今後、農林水産分野において更なるITの利活用を推進するためには、生産者の意向を伺うとともに、IT普及の阻害要因を的確に捉えることが重要であることから、農業経営へのITの利活用に関する意向、ITの利活用の推進の阻害要因などを把握することを目的としたものである。

2 調査の対象

本調査は、農林水産情報交流モニターのうち農業者モニター（1,269人）を対象とした。

3 調査時期

調査は、平成24年7月中旬～7月下旬までの間に実施した。

4 調査方法

農業者モニターに対する郵送調査による。

5 調査対象数及び回収率

区 分	対象者数（人）	回答者数（人）	回収率（%）
農業者モニター	1,269	1,062	83.7

6 集計方法

各項目とも、単純平均により集計した。

7 その他

- (1) 統計表の各回答率は、各設問の有効回答者数計を100.0とする割合である。
- (2) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない。
- (3) 統計表に使用した記号「－」は、事実のないことを表す。
- (4) 統計表の数値の中には、回答者数の少ないものもあるので、利用に当たっては、十分注意されたい。

【ホームページ掲載案内】

- 本調査結果は、農林水産省ホームページ内の統計情報のページの下側のその他の「農林水産行政等に対する意識・意向調査」から御覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>】

— お問い合わせ先 —

農林水産省 大臣官房統計部

管理課情報室 情報企画班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3621

(直通) 03-6738-6158